

第8号 日本良工手錶

年頭にあたつて



新年を迎えて

住職
若松正隆

さて、去年一年の日本を振り返つて見ますと、日本にとつて非常にしんどい一年であったようでございます。

貿易による黒字が各国から攻撃され、その結果、急激な円高がおこりました。その為、景気が悪くなりあんな会社がというような企業が人員整理や一時帰休を実施しました。今後もこのきびしい情況に変わりはないことであります。寺の景観も見違えるものとなるでしょう。

春の一日寺巡りも八十三名のご参加をいたしました。十月には毎年恒例の行事になつておりますが、四国八十八ヶ所靈場巡りも五回目になり今年の参加者五十三名の内二十四名の方が満願成就されました。然しまだ途中から掛軸や納経を崩され引退されましたので改選いたしました結果不肖私がその大任を引受けられることになりました。前任者同様宜しくお願ひ申し上げます。

総代長 島岡 田山山朝日寺龍正院(朝日寺の正式な名称)を始められた方これから始められる方等ござりますので今後も毎年の行事として続けてゆきたいと思っております。ご希望の方は早めにお申込み下さい。尚三月中旬には高野山詣りを計画しておりますので宣しくお願ひします。十月二十六日二十七日の密教婦人会のお砂踏行事には総代全員が協力いたしました。昭和六十二年度は5ヶ年計画の最後の年で土壠の修理を行います。お寺の外観が立派に見えるようになる事でしよう。

庄田山朝日寺龍正院(朝日寺の正式な名称)は二百數十年にもなる古いお寺でございます。本堂の基礎の修理、本堂の屋根の葺替、客殿の床下の修理等々山積されております。壇家の皆様には今後共大変なご協力をお願いする事があります。と思いますが宜しくお願ひ申し上げます。私共総代会におきましては朝日寺維持のため計画的に全力をあげて頑張つて行く所存でございます。最後に皆様方のご健康とご多幸を祈念致しまして年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

じめ総代長総代の皆々様方、壇場御信徒の皆様方には一方ならぬ御協力を頂きまして無事終らせて頂きました。これも皆様方の深い御信仰のお心とお大師様の御加護があればこそ深く感謝致して居ります。有難うございました。

私、密教婦人会のお役を頂いて一ヶ年が過ぎました。家の商売しか知らない私が思いもかけない跳躍でございました。至らぬ私でございますが、御住職様には色々と御指導賜り又役員の皆様は暖い御援助下さり、感謝の気持で一杯でございます。

右ほどけ左は我と合す手の中ぞゆかしき南無のひと声
大好きなお歌でございます。

報恩謝徳、相互供養、相互礼拝の念を日々の生活の中で一層努力し実践して参り度いと存じます。

一本目も五月初花祭りお薬師様の御縁日にお砂踏みで延期致しました總会も併せて行う予定でござります。皆様お捕いでお詣り下さいませ、以後共密教婦人会に一層の御指導賜ります様お願い申し上げます。

最後になりましたが皆々様の御繁栄と御健康を心よりお祈り申し上げます。 合掌

私はお大師様のお蔭話しの思い出があり、ます五十五年邑久郡今町文化祭につき郷土史クラブ全員にて邑久郡大師靈場「南巡り」、「北巡回」八十八ヶ所順拝の探訪冊子作製並に文化祭展示につき遍路姿白衣に身を淨め手甲、足袋、わらじ履と言う姿で参拝するのが通常で、すので早速男女のマネキンを借りて装束と資料を小豆島靈場總本院、他へ求めに行きました。

納札につきまして白色「六回まで」赤色「七回以上」青色「十三回以上」銀色「二十五回以上」金色「五十回以上」錦「七十回以上」この中で銀色の納札までは邑久町、長船町、のお寺さんとの協力によりまして求めることができましたが金錦の二種類が求められませんので諦め気味でおりました。金の納札は土産店にて事情を話すと「せつたい」として一枚戴き錦の納札は近くのお寺さんに行つてお願いしてはと教えて戴き三ヶ寺を行きましたが錦の納札は申込みが多く品切れにつき諦めて帰り冊子の作製、展示の準備も完了し文化祭の期限は近くなり私の任務として地元尻海二十一ヶ所大師靈場写真並に資料展示に取り組みました。ところが邑久郡八十八ヶ所、南北、巡りと一ヶ年近く探訪研究しましたが錦納札は求めることが出来なかつたのが、地

瀬戸内三十三観音霊場巡拝記
大土井 田 中 修
昭和六十年に創始された瀬戸内三十三観の第二回巡拝が去る五月二日に行われた。回は、牛窓町二ヶ寺、赤穂市二ヶ寺、備前二ヶ寺で、参加八十四名、バス二台の旅。憎前夜半からの雨が上らず、終日傘が手離なかつたのが残念であつた。

牛窓町の二ヶ寺、室谷山金剛頂寺真光院海岸山妙福寺観音院とあらたまるより、牛

まだ残る山合を軽快に松江まで、会場にて
中国五県の講員の方々の御精進振りは目を
はる物がありました。備前本部の方達も優
した人、其の他の賞を戴かれた人もおられ
す。私達の未熟さをつくづくとさとりまし
幸に朝日寺の奥さんが熱心に御詠歌のお稽
をなさつておられます。皆さんお大師様の
遺徳を偲び一諸に御詠歌をおとなえしてみ
せんか、お待ちしています。

金剛流御詠歌
中国大会に参加して

像堂の千手観音に一同看経して、木像、宝物を拝觀した。当寺の木像は討入姿で、大石神社の木像より時代も古いものと思われた。赤穂駅に近い高力製菓で昼食、午後は備前市へ引き返し、三石の光明寺に参詣。山門に入るとして左手に、「明治天皇行在所址」という巨きな碑が目につく。明治十八年天皇山陽道御巡幸の碑、当時客殿が行在所に当てられた由、建物のたゞまいは流石に当地を偲ばせるものであつた。

一同本堂に上らせて頂き、看経後湯茶の接待など頂き小憩後、香登大内の、大滝山福生寺へ向う。

熊山の山ふところの福生寺は、小型バスでやつとの道なので大内から二組の別れて参詣した。晴天であれば初夏の山鳥の声も聞け、渓谷の観賞も出来たであろう、雨中であわただしきつたことは残念であった。

以上今回のお巡拝で東部のお寺巡りは終つたわけで、次回から備中西部、備後方面の巡拝となり、前回、今回よりは遠距離となりますが、最近道路整備はすばらしく、又お寺側の受入設備も整い、巡拝の旅も大変楽になりました。皆様引つゞき多数御参加を希つて止みません。お世話頂いた縁代さん方のお骨折に感謝し、拙ない巡回報告の記を了らせて頂き

瀬戸内三十三觀音靈場巡拜記

まだ残る山合を軽快に松江まで、会場にて
中国五県の講員の方々の御精進振りは目を
はる物がありました。備前本部の方達も優
した人、其の他の賞を戴かれた人もおられ
す。私達の未熟さをつくづくとさとりまし
幸に朝日寺の奥さんが熱心に御詠歌のお稽
をなさつておられます。皆さんお大師様の
遺徳を偲び一緒に御詠歌をおとなえしてみ
せんか、お待ちしています。

朝向寺

発行者 若 松 正 隆
会 総 代 会
印刷者 奥 山 印 刷



四国靈場 お砂踏み参拝

大東山下

千達
歲世雄

元尻海二十一ヶ所靈場に取り組み朝日寺住
に協力依頼に行きましたところ早速お大師